

子育て・サークル応援グループ  
MaMa ぽっけ  
\*サークル通信\*

★ 私たちは「地域ぐるみの子育て」をめざす活動を発信します ★

秋号

『みんなで一緒にどこに行こうかな？何してあそぼうかな？  
そんな楽しい活動を応援しています！』



平成27年9月2日発行

第54号

<連絡先> 安佐南区社会福祉協議会（通称“社協”）

電話：082-831-5011 FAX：082-831-5013

MaMa ぽっけホームページ（MaMa ぽっけで検索OK！）

<http://mamapokke.cho88.com>

「各サークルさんの活動内容が  
聞けたのでとても参考になりました！」

# サークル交流会 は、 サークル活動しているみんなの強い味方ですね!



「子育てサークル交流会」のメインといえば、

グループに分かれてのおしゃべりタイム。

最初は自己紹介をしながら少し緊張気味の皆さんですが、慣れてくるとおしゃべりが盛り上がります。自分のサークルについても、よそのサークルのことを聞くこともなかなか機会がないので、新鮮に感じておられるように思います。

MaMa ぼっけメンバーは、「そうそう、私も同じようなことがあった！」と懐かしかったり「へえ～、そうなんだあ～」と今ドキのことを知ったりしながら、みなさんのおしゃべりのお手伝いをしています。時は流れても変わらないのは、みんな「一生懸命」なコト。約40分程の時間もあっという間に過ぎてしまって「時間が足りない！」と、アンケートに書いてもらっていることが物語っています。また、同じ地区、同じ公民館で活動しているサークルさん同士が知り合いになり、つながりができる様子が今回もたくさんあり、うれしかったです。

話し足りないことは「あそびネタサロン」へきて

MaMa ぼっけと一緒にしゃべりましょう♪

## たくさん参加ありがとうございました！

6月17日 祇園公民館会場（7サークル 17組の親子さんが参加）

のんたんランドあひる組・うさぎ組・ひよこ組、ママさんぞうさん幼稚園、あつぶっぴはらっぱ、広島食育アレルギーっこの会キラ☆キラ

6月24日 古市公民館会場（8サークル 11組の親子さんが参加）

ふたりっこ、ふぁーすとしゅーずトコトン、カムカム、グリーンキッズ、どんぐりの会 広島食育アレルギーっこの会キラ☆キラ、いちごミルク、タッチケアもみじ(古市)



\* 子育てサークル交流会は、古市公民館さん、祇園公民館さん、安佐南区社会福祉協議会さんと一緒に開催しました。

読書の秋がやってきます！

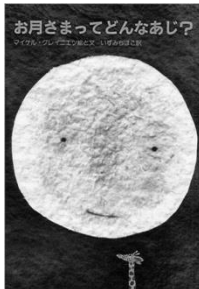
絵本の読み聞かせグループ「まほうのポケット」さん  
おすすめの絵本の紹介です。



「まほうのポケット」さんは、奇数月の第4金曜日に佐東公民館にて、地域の子  
どもと保護者の方を対象におはなし会を行っています。毎回、テーマを決めて、本数  
冊とふれあい遊びで、30分間。親子で、楽しい時間を過ごしています。地域の幼稚  
園、図書館、常設型オープンスペースオアシスあさみなみで、開催しています。

また、区内公民館には、絵本の読み聞かせグループさんが活動されています。み  
んなの近くの公民館へ行ってみませんか？

◆9月27日は、お月見です！



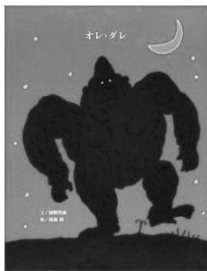
「お月さまってどんなあじ」 らんか社

マイケル・グレイニエツ 文絵

いずみちほこ 訳

お月さまを食べてみたくて動物達が集まります。みんなで協力して  
背中に乗ってお月様に近づきます。苦勞して、かじったお月様の  
味は絵の美しさとお月様の味を想像しながら楽しんでください。

◆「なあ～んだ？」あてっこ絵本も楽しいよん！



「オレ・ダレ」 講談社

越野民雄 作 高島純 絵

星と月のきれいな夜、動物達に会いに行ってみましょう。シルエット  
で登場する動物を、あてっこする絵本です。読み手も個性ある動  
物になりきって読んでみましょう。

9月25日10時30分より、佐東公民館にて  
おはなし会(絵本の読み聞かせとふれあいあそび)を  
行います。みんなあそびに来てね(´▽`)/



## 8.20 広島土砂災害から一年が経ちました

幼い我が子と体験したあの時の不安な気持ちを忘れないように、私たちのできることは小さな活動ですが、仲間とともに継続していきます。一年が経ち今思うことを、メンバーや子育てサークルのお母さんたちが言葉にしてくれました。

### 家族でしっかり防災について話をする

去年8月20日に起きた豪雨災害では、見慣れた場所が土砂災害で大きな被害に遭って、とてもショックを受けました。毎日、ニュースが気になり、ずっとテレビをつけていたのを覚えています。たくさんのボランティアの人たちが手伝っているのを見たり、被災された人たちの気持ちを思うと、私にも何かできることは・・・とっていました。

MaMa ぼっけの中でも、”こんなお手伝いがあるけど、誰か行けますか？”とたくさんメールがきました。私はその頃妊娠中で、お腹が大きくなっていたことや、すごく気持ちが不安定になってしまったので、正直何も出来ないな・・・と思いました。でも、こんな近くで大変なことが起きているのに何もしていないことに、とても悩みました。ボランティアに参加した友達に、「忘れないことが大切だと思うよ」と言われ、少し気持ちが落ち着きました。

今、自分に出来ることを考えると、子育て真っ最中の私は、日々生活環境が変わっているのに、家族でしっかりと防災について話しておくこと、見直しておくこと、友達とも情報を交換しながら知識を身につけておくことかなと思っています。そして、私たちは自然のなかで暮らしている一部だということを忘れずに、日々を感謝しながら生きていきたいです。

(MaMa ぼっけメンバー)

### あの日からもう一年、まだ一年

あの日、激しい雷雨の音で一家で眠れない中、ゴゴゴゴという音を聞きました。大きい地震の音に似ていたけど揺れていないし、飛行機が低空飛行をしている時の音にも似ているけどこんな時間に飛んでいるわけもないし・・・と思いながら、しばらくすると雷雨の音がおさまったので眠りにつきました。大惨事が起こっているとは全く予想していませんでした。

朝、慌ただしい音で眼が覚め外に出ると、坂道に山からの雨水が川のように流れ、ところどころに流木が止まっていて、その時初めてただことではないことが起こったということに気づきました。幸い家に被害はなかったのですが、深夜からの停電に加え断水にもなっており、当時4か月の娘のためにも南区の実家へ避難しようとすぐに決めました。(次ページへ続く※)

(前ページより※)

しかし、坂を下り平地にさしかかるとそこは泥だらけで幼子を抱えて歩けるわけもなく、違う筋道を通って下におりようとしても左右ともに土砂や流木、倒壊した家屋によって道はふさがり、自宅周辺は陸の孤島になっていました。情報源は携帯電話のみ、ただ外部との連絡手段もそれしかないのではほとんど使えず、時間がすぎるのを待つことしかできませんでした。

娘は母乳育児だったので私自身が口に何かを入れる必要があったのですが、前日まで一週間家を空けていたので火を通さずに食べられるものが食パンしかなく、心の中で娘にわびながらそれを食べました。

結局、実家に避難できたのは15時頃でした（これは私が予測していた時間よりも早く、平地の周辺の人たちが必死になって泥かきをしてくださったおかげです。感謝と手伝えなかった申し訳なさでいっぱいです）。

この災害を経験して実感したことは、いかに自分たちは日ごろ便利な環境のなかで暮らしていたかということです。何か知りたいことがあればテレビやパソコン・携帯電話を使い、お腹がすけばスーパーやコンビニで食べるものを買う、それが当たり前のことでした。

ただ災害時には、その当たり前のことができません。

そのため何が起ころうともいいように準備をしておくことが大切です。でも、その大変だった時の記憶が、普段の生活を送っていると薄くなりつつあります。雨が降るたび避難準備や勧告が発令され、最初は不安になり警戒していましたが、最近はただただなぐらいにしか感じなくなってきていることも、自分のことながら非常に情けなく思います。だけど、災害はある日突然やってきます。

あの日からもう一年、まだ一年。

この節目の日を迎えたのを機に、災害時に必要なことをしっかり見つめなおし、自分や家族のことをしっかり守れるようにはしたいです。

元タッチケアもみじメンバー  
(佐東公民館)



## “なんとなく不安だけど、何もしていない 子育てママのための防災講座”

これまで自然災害による大きな被害がテレビで報道されるたびに「防災グッズを準備しといたほうがいいよね」「もしものときどこに避難すればいいのか知っておいたほうがいいよね」と思いつつも、何も行動せず備えが出来ていない私でした。



そんななか起こった、一年前の広島土砂災害。生まれて三十三年間ずっと広島に住んでいるのに広島県が土砂災害危険箇所全国一位ということを知った驚きと、母親となったいま守るべき小さな愛しい命がそこにあるのに、何も備えをしていないという焦り。もしものとき我が子を抱えて自分が出れることは何なのか、不安でいっぱいになりました。ひとまず防災グッズを準備しておこうかといろいろ調べてみましたが、何リットルもの水や毛布が必要リストに上がっていたりして、そんな大荷物抱えて我が子と避難するなんて非現実的すぎて参考にならない！と足踏み状態。こんなに近くで被害があったのに、けっきょく何も変わらない自分にモヤモヤしていました。

そんなとき、「子育て世代向けの防災講座の企画へ参加してみないか」と誘いを受けた。私のように、焦りと不安を抱えているのに前に進めないママがきっといるはず。毎日家事と育児に追われ、防災について考えるきっかけがないママがきっといるはず。そんな思いを込めて、企画に参加しました。

講座では、瓦礫にうもれたときに自分の存在を知らせる笛や電池のいらないライトなど、最低限の防災グッズ

を巾着袋にひとまとめ。注意すべき点などをみんなで考えながら、祇園公民館周辺の公園へ避難体験もしました。大学生グループ「HUG-YOU」さんが色々考えてくださり、子連れでの防災を一番のポイントにした講座は、ママとしてとても充実した時間となりました。この1回に終わらず、継続して地域全体で防災について考えていくことが、今後の減災に繋がると信じています。

(ママさんぞうさん幼稚園  
メンバー)

6月18日 25日 祇園公民館

子育て世代向け防災講座より

**「最小限の防災グッズを作ってみよう！」**

①ホイッスル (中に玉が入っているものは濡れると鳴らなくなる恐れがあるので、そうでないタイプがおすすめ)

②携帯用ライト(充電式のものや、LEDライトのものや、ヘッドライト式は両手があくのでお勧め)

③ウェットティッシュ ④油性マジックペン

⑤大中小のビニール袋

⑥軍手 ⑦タオル

※袋はお家で眠っている

巾着袋で十分です。

※詳しい利用方法を知らない人はあそびネタサロンへどうぞ。



© colaru abe

新しいコーナーです！

# ぶっちゃん サークル

## 運営相談室



誰かに聞いてみたかったけど、なかなか聞くことできないサークルの運営のあれこれについて、MaMa メンバーがお答えするコーナーです。

**Q.** 「うちのサークルは、季節の工作をすることが多いです。今年は、子ども達の年齢幅が広く、どこに合わせたらいいか？いつも悩みます。また、小さい子は特に、工作といってもあまりできないため、ほぼお母さん方が工作をすることになっちゃいます。だからといって、ほかのあそびについてもマンネリ状態です。夏休みが終わり9月に活動が始まるので、計画をたてるのに悩みます。何かいい方法ありませんか？」



**A1.** 工作は、短時間で簡単に作れるものを考え、(子どもにはシールを貼ったりお絵かきさせたりとか)作った人から、その工作で遊んだり、みんなでゲームを考えておいたらどうでしょうか。あとはサークルのスペース全部を工作の場所にせず、半分くらい工作コーナー、もう半分を遊ぶコーナーにするとか。

たとえば・・・

10月のハロウインだったら、牛乳パックなどで、カゴをつくっておく。

子どもには、当日折り紙貼ったりシールとか飾りをつけてもらう。

そして、子どもに仮装させる。その後、お菓子をもらってかごにいれていくなゲームをする！・・・な～んて、どうかな？



**A2.** 「子どもの年齢が広く、どこに合わせたらいいか？」よ～くわかります。悩みどころですよね。工作の時は、活動に参加出来る小さい子どもさんに合わせるが多かったです。大きい子にとってはどんな内容でも楽しむことは可能でした(^\_^) また、我が子の作品は我が親が作り上げるという雰囲気では、子どもさんを二人連れていたりするとしんどいので、みんなで助け合って、完成できるようにちょっとみんなで配慮できるといいですね。

### ●○ ちょっとだけ、簡単なあそびネタの紹介デス！ ○●

スーパーのレジ袋 1 枚でも楽しい工作とあそびが体験できますぞお

0 歳児さんは、袋のわしゃわしゃいう音を楽しむだけで、満足度 100%なり。

空気を入れて口をしっかりと締めればボールになります。これなら何歳でも OK(^\_^)v

顔を描いたり、耳を貼り付けたり、詰め物をしたり、ちょっと手を加えれば動物にも変身(^\_^)

実物や作り方を知りたいなあという人はあそびネタサロンに来て下さいね。待ってます～♪

「MaMa ぽっけメンバーのわたしの子育てコラム」では、メンバーのいろいろな子育て

体験談を綴っています。みんな泣いたり、笑ったり！我が子と日々格闘？？しているお母さんたちです。

MaMa ぽっけメンバーの

## わたしの子育てコラム(その14)

### 「我が家の夏休み！」



子ども達(小4男児・年長女児)が、待ちに待った夏休みに入り…と思えば、あっという間に後半に突入しました。夏休みの朝はラジオ体操から始まります。毎回最後に6年生からハンコを押してもらえるのが嬉しくて早起きを頑張っているようです。

先日、島根の海に出かけた時のこと。去年までは波が怖くて、水着を着ていても海に入らず、ずっと砂遊びをしていた下の娘が、今年はシュノーケルに初挑戦し『沢山お魚見えたよ！』と大喜び♪私も、やっと砂遊びから解放されて海を満喫することができました(^.^)以前は怖がりだったお兄ちゃんも、周りの子ども達から刺激をうけたのか、高いところから飛び込みをしていたので(メッチャ楽しそう♪)子どもの1年毎の成長は凄いなあと感じました(^)

そして、暑くて出かけるのも面倒なときは(ジャーン♪)ベランダプール！この間、プールに入っているにも関わらず、子ども達が『暑ーい！！』というので氷を投入☆毎年ベランダプールをするけれど氷を入れたのは初めてです。この夏は暑かった…(@\_@)

他にも、川遊びに花火、天体観測や展示会、帰省など…親は、情報収集から準備に運転、そして帰宅後の後片付けなど結構大変です(>.<)…が、真っ黒に日焼けした子ども達を見て、やはり『あー楽しかった♪』と思えます(^)

ただ、まだ残っている宿題が…・私自身も子どもの頃そうでしたが、お盆過ぎると焦ってきますよね(汗)お兄ちゃん頑張れ～……以上、我が家の夏休みでした。

MaMa ぽっけメンバー 村上由紀



# あそびネタサロンのご案内



日時： 原則 第1・2・3 火曜日 10時～12時（時間内出入り自由）

9月	1日、8日、15日
10月	6日、13日、20日
11月	10日、17日、24日
12月	1日、8日、15日

「私も子育てサークルに  
行ってみたいなあ～」  
そんな親子さんも  
大歓迎！

場所： 安佐南区総合福祉センター6階 第3会議室にて

問い合わせ： 安佐南区社会福祉協議会

<電話>082-831-5011

★子育てサークルやおうちで楽しめる簡単なあそびを紹介しています！

「サークルで、何して遊ぼうかな？」そんな時のお助けグッズ“貸出おもちゃ”の紹介もあります。

★子育てサークルの紹介、サークル運営の相談をしています！

「サークルデビューしてみようかな??」という親子さんも大歓迎です。

★新企画「“ママたちの防災知恵袋コーナー”」スタートします！

子ども連れでも、災害時に役立つ知識をみんなで考えることができるコーナーを用意しました。第1回の9月1日は、安佐南区復興連携センターさんと一緒に災害伝言ダイヤル体験も出来ますよ！（その後も開催日が1日、15日であれば、災害伝言ダイヤルの体験ができます。）子育て世代ならではの災害への心配ごとをみんなで情報交換してみませんか？

## 《 “MaMa ぽっけ” っ て な～んだ？ 》

子育てサークルの出身の母親を中心に、自分たちの経験を活かして子育てサークル活動のおもしろさや、子育て仲間のすばらしさを伝えていこう！というボランティアグループです。

## 《 活動内容の紹介 》

- ① **通信の発行**（年に4回、子育てサークルについての情報を発信します。）
- ② MaMa ぽっけの **あそびネタサロン & 出張あそびネタサロン**
- ③ **おもちゃなどの貸出**（サークル活動がより楽しくなるように願って、貸出を行います。）
- ④ 安佐南区区内子育て支援機関と一緒に、**子育てサークル交流会の開催**
- ⑤ その他…サークル訪問や、ボランティアまつりへの参加、あさみなみ子育てしやすいまちづくり委員会への参加など、できることを楽しく ゆっくり！じっくり！活動しています。

♥ サークル活動で困ったことがあったら、遠慮なくいつでも！お気軽に声をかけてくださいね。 ♥

